

テーマ：観光教育（実践校）

## 宗谷管内 猿払村立拓心中学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する理解を深めるため、総合的な学習の時間において、猿払観光協会の方から猿払村の自然や産業等を学ぶ時間を設けました。また、猿払村の魅力を再発見し、ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、修学旅行でふるさとのよさを発信したり、猿払村の印象を取材したりしました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

猿払観光協会の方を外部講師として猿払村の自然・地理・産業・特産品等について理解を深め、各自が課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

課題ごとに企画会議を開き、観光協会の資料や村のホームページなどを活用し、自然環境や産業等の特色について調べ、村を紹介するパンフレットを作成しました。

##### (3) 整理・分析

取材活動を通して集めた情報を整理し、再度分析して、猿払村の資源を生かしたこれからの観光の在り方について考えを深めました。

##### (4) まとめ・表現

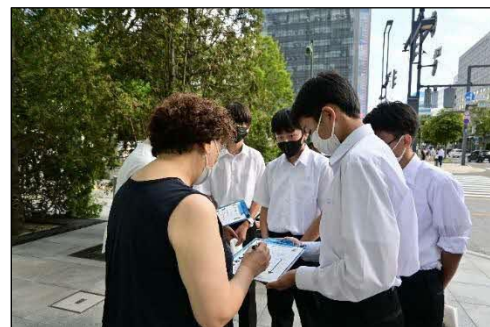
今回の取組を通して再確認できた猿払村の魅力、修学旅行でのPR活動や取材活動の成果等をまとめ、校内で発表し、ふるさとの魅力やよさについてさらに理解を深めました。

#### ②生徒の感想等

- ・思っていた以上に多くの人が「猿払村のほたて」のことを知っているなど、猿払村のよさや特色を再確認できた。
- ・PR活動の時に、最初は緊張しましたが、自信をもって猿払村のよさを伝えることができ、たくさんの人に猿払村の特色を知ってもらうことができました。



【作成したパンフレットの一部】



【PR活動・取材活動の様子】

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が 64%から 79%に、「自分の住んでいる地域の観光や産業についてもっと調べたいと思う」と回答した生徒の割合が 50%から 68%に、「北海道や自分たちの住んでいる地域に、誇りや愛情をもっている」と回答した生徒の割合が 82%から 96%にそれぞれ増加しました。
- 外部講師を活用した授業や修学旅行でのPR活動や取材を行ったことにより、ふるさとのよさを再確認することができ、ふるさとに対する誇りを高めることができました。
- 生徒が情報収集をするために行った体験活動について時間が必要だったことから、教科等横断的な視点で教育課程を見直すなど、活動内容の充実・精選に取り組む必要があります。